

市民意見募集(パブリックコメント)結果

「都市計画道路の見直し(案)」に関するご意見を募集した結果、33件のご意見をいただきましたので、次のとおり公表します。

なお、存続候補となっている路線については、今後、整備の優先順位などを検討するとともに、必要に応じて計画幅員の変更などの検討も進めていきます。

■ 募集案件の概要募集案件

募集案件	都市計画道路の見直し(案)
受付期間	平成26年3月20日～平成26年4月18日
ご意見の件数	25名・33件

■ ご意見の概要と市の考え方

NO	受付 番号	ご意見の概要	市の考え方
整理番号 3 松島本渡線(全線存続候補)			
1	3	本渡・安原地区においては、歩道が無く、車の対向ができない程狭い道路に、子供を1人で歩かせられません。3 松島本渡線のようにもっと沢山道路を整備してください。	3 松島本渡線については、和歌山市と海南市北部地域を結ぶ地域間道路であるため存続候補としております。
2	5	宮街道の交通量を考えると、宮街道以北区間の整備を進めるべき。	NO. 1と同様の考えです。
整理番号 4 南港山東線(全線存続候補)			
3	2	国道42号と大浦街道を結ぶ道路が寺町通りから水軒通りまでないため、4 南港山東線(水軒口～西浜交差点)において、特に朝夕の通勤・通学の時間帯の渋滞がひどい。また、歩行者や自転車も多く、時々事故も発生している。 水軒通りが狭いことに加え、水軒口及び西浜交差点に右左折帯が無いことが大きな原因だと思われるため、この箇所の対策だけは是非実現できるようにお願いしたい。	水軒通りと重複している 4 南港山東線については外環状道路の一部を担う区間として、また 11 湊神前線は内環状道路の一部を担う道路として存続候補としており、これらの区間を整備することで、渋滞対策にも効果があると考えています。

4	1 7	4 南港山東線については、港から5箇年位で完成させるべき。	4 南港山東線の塩屋街道から国道42号までの区間(秋葉町工区)については、平成30年度の完了を目標として事業を推進しています。残る区間についても、早期事業化を検討します。
整理番号 8 新和歌浦中之島紀三井寺線(全線存続候補)			
5	1 7	交通量が多く、歩道がないため危険な道路である。	8 新和歌浦中之島紀三井寺線(大浦街道)については、外環状道路及び内環状道路の一部を担う区間であるため存続候補としています。 なお、県において、地元の方々のご意見を伺いながら、民地側に歩道を拡幅する計画を検討しているところです。
整理番号 9 市駅小倉線(一部廃止候補)			
6	1 7	交通量が多く、沿道に中・高等学校があり、廃止すべきでない。	9 市駅小倉線(和佐山口線～市境界)については2車線改良済みであること、また川辺橋南側の23和佐山口線の整備により、県道(和歌山打田線)への自動車交通の分散が考えられることから廃止候補としています。
整理番号 10 和歌山港鳴神山口線(全線存続候補)			
7	1 7	大型車の交通が多いため港側から整備すべきである。	10 和歌浦港鳴神山口線については、和歌山市西部地域と岩出市を結ぶ地域間道路であるため、存続候補としています。
整理番号 11 湊神前線(一部廃止候補) 及び 整理番号 21 水軒小雑賀線(廃止候補)			
8	1 4	和歌山市の中心部において、国道42号、大浦街道は都市における基幹をなす道路です。この2路線に挟まれた地区住民は北側の20砂山手平線から南側の4南港山東線に囲まれ閉塞感が強く、不便このうえない中で生活している。11湊神前線と21水軒小雑賀線が完成する日を心待ちにしていた住民にとってはこの度の発表は受け入れ難いものである。 21水軒小雑賀線は都市計画に沿った形での生活道路が狭いながらも活用されているが、11湊神前線は自転車ですら通行できる現道は存在しない。また、20砂山手平線と4南港山東線との間は約2km離れているため、その中	11 湊神前線については、内環状道路の一部を担う区間であるため、存続候補としています。 21 水軒小雑賀線については、市の骨格となる路線ではなく、既存道路の局部改良による代替えが効果的・効率的であると考えており、都市計画道路としては廃止候補としています。

		間という意味からも 21 水軒小雑賀線は存続し、11 湊神前線と共に早期に完成させるべき。	
9	17	21 水軒小雑賀線について、国道 4 2 号～大浦街道区間は県立図書館が隣接しているため廃止すべきでない。	NO. 8 と同様の考えです。
10	17	11 湊神前線について、国道 4 2 号以西は廃止すべき。	11 湊神前線の国道 4 2 号から大浦街道の区間については、内環状道路の一部を担う区間であるため、存続候補としています。
整理番号 13 北島西庄貴志線（廃止候補）			
11	7	西脇地区においては、東西道路には不便していないが、県道に直線に出ることができる道路が 1 本しかなく、南北の幹線が無い。 1 本ある道路は軽自動車すら対向できないくらい狭いため、海水浴や魚釣りなどに来る車で混み合って難儀している。 このような状況で大地震が発生すれば、徒歩での避難も難しいのではないかと思う。また南北方向の道路は何れも狭いため、家屋の倒壊などにより緊急車両の通行が困難となる。 よって南北道路の整備が必要です。 (つつじヶ丘や北高西校舎などの高所避難場所)	3 北島西庄貴志線については、市の骨格をなす路線ではなく、災害時の避難通路や緊急車両の通行経路の確保については既存道路の局所改良などによる代替が効果的・効率的であると考えており、都市計画道路としては廃止候補としています。 南北道路については、新たに都市計画決定することを含め、整備する方向で考えてまいります。 (なお、西脇地区における津波発生時の避難場所としては、西脇小学校も避難可能場所となっております。)
12	8	西庄地区の道路は現在の車社会を想定しておらず、リヤカーや徒歩が主であった時代の通路を舗装して使用しているため、幅員が狭く車同士の対向ができずに渋滞が起きています。このような状況では近い将来に発生が懸念されている震災に備えることができない。 昨今の都市計画に防災避難の視点を無視して果たして本当に都市計画と言えるのでしょうか。廃止とするのであれば代替の避難路となる幅員の整備が急務です。	NO. 11 と同様の考え方です。

13	9	<p>西庄から磯の浦までの加太線沿線の地域においては道路が狭く、非常時における緊急車両や避難車両の通行が困難である。</p> <p>地域の道路は、都市計画道路の「円滑に移動できるように」という目的を果たしているとは思われません。</p> <p>私の住む西庄は海拔6mで海岸沿いにあります。避難場所は「北校西校舎」で、本脇地区は「つつじが丘」だそうですが、避難困難者を車で運べる広い道がありません。</p> <p>13北島西庄貴志線が都市計画道路に入っていることから、7西脇山口線へ出られると安心していましたが、代替えの避難道路がないまま廃止されれば命の危険にさらされることになるため、従来の都市計画道路の考え方に「減災や津波被害の軽減、特に人的被害の軽減」という考え方を加えていただきたい。</p> <p>この地区の人々が、津波発生時に避難困難者を車に乗せて連れて西脇山口線まで出られる「命の道」を確保してください。</p>	NO. 11と同様の考え方です。
14	10	<p>西庄・西脇地区において、県道粉河加太線へ出る道路が狭く車同士の対向が困難です。また、磯ノ浦海水浴場へ行く車で渋滞が起こり、身動きが取れない状況になることもあり、緊急車両も同じ状況になることもあります。</p> <p>この地区は、高齢者が多く、幼児・病人等の避難困難者も車で避難する必要がありますが、車で県道へ出るのが大変困難です。</p> <p>県道へ出る道は50年も前から、この地区の切なる願いです、何としてでも、西脇地区から県道へ出られる道を通して頂きたいと望みます。</p>	NO. 11と同様の考え方です。
15	11	<p>西庄地区の県道へ出る道路は狭く、夏季の海やプールに来る人が多く渋滞します。地震や津波が来た際、狭い道路で車が動けなくなっていたら人の通行もできません。</p> <p>13北島西庄北島線が無理だとしても、西脇小学校東側の道から直接、県へ繋がる道路の整備をして頂けませんか。</p> <p>地区の人命を守るためにも早急をお願い致します。</p>	NO. 11と同様の考え方です。

1 6	1 3	<p>西庄・本脇・磯ノ浦において県道から南方向への進入路が少なくどれも狭いため、住民は皆、毎日困っています。</p> <p>昔より民家も車も増えたのに道路は昔のまま変わっていません。車が何とか通行できるような道なので、車同士の対向で数珠繋ぎになっています。</p> <p>本地区には磯ノ浦海水浴場、河西公園、及び河西プールがありますが、道路が狭いため訪れることを敬遠していることを聞きます。河西公園に沿った堤防道路を拡幅することも可能であり、もっと多くの人に磯ノ浦や河西公園を利用してもらいたい。</p> <p>南北の進入路は3本ありますが、どれも狭く対向が困難です。西脇小学校東側の道路が7西脇山口線へ繋がれば、この地区の道路事情は大きく改善されます。何十年も前から幾度も話は出ていたが、未だに実現されていません。</p> <p>また、和歌山市所有地（公衆用道路）があり、50年程前に道が造られたが、現状では行き止まりです。この道の沿線の土地を購入した人は、広い道につき、踏切を渡って北側へ出ることができるから購入したため、和歌山市に騙されたと言っています。遮断機の付いた踏切をつけて安全に通行させて欲しいです。</p> <p>都市計画税は皆が納めているので、平等に道を造って欲しい。</p> <p>緊急車両の進入路の確保、さらに、津波発生時に避難場所（北高校西校舎）へ避難するにも7西脇山口線へ出ることすら不可能です。</p> <p>車が一台立ち往生したら人も通れなくなりパニックになるに違いありません。高齢者が多い地区であるため不安がつります。</p> <p>13北島西庄貴志線が整備されることが一番いいですが、生活道路の整備が何もされないままの廃止は絶対反対です。廃止するのであれば、陸の孤島からの脱出案、代替する道路の計画をどう考えておられるのか回答よろしくお願いします。</p> <p>10年、20年後に多くの人々が訪れてくれる和歌山市の桜の名所、河西公園になって欲しいと思います。</p>	<p>NO. 11と同様の考え方です。</p>
-----	-----	---	-------------------------

17	15	<p>西庄地区の道路は狭く、また夏の海水浴時期には渋滞が発生していることもあり、13北島西庄貴志線の早期整備に期待していました。</p> <p>狭い道路では緊急車両の素早い到着が困難となり、また災害発生時の避難通路の確保も難しくなります。</p> <p>廃止候補の見直しを望みます。もし廃止となるのであれば代替の広い道路の確保を希望します。</p>	NO. 11と同様の考え方です。
18	16	<p>西脇地区の生活道路はとても狭く、海水浴シーズンは渋滞が発生しており、車で道路へ出ることができません。地区に住んでいるみんなが我慢しています。</p> <p>また、災害時に車で避難が出来るよう、道を広げて下さい。</p>	NO. 11と同様の考え方です。
19	20	<p>西庄、本脇、磯の浦、西脇地区における南北方向の道路は、何れも軽自動車1台通れるかどうか、そんな道がほとんどです。</p> <p>災害時の避難場所は北側の県道を渡った山の上の「北校西校舎」ですが、地震により家や塀が狭い道路に倒れ込むことが容易に考えられ、避難場所へたどり着くことができません。また、道路が塞がれると緊急車両が入ってくることもできません。</p> <p>私達のように中心地から離れた場所に住んでいる者は、市の骨格となる路線でないと切って捨てられるのでしょうか、検討の見直しをよろしくお願いします。</p>	NO. 11と同様の考え方です。
20	19	<p>西庄地区周辺の道路は軽自動車も入れない程狭く、地震により塀が倒れたりすると通れなくなると思う。また、磯ノ浦海水浴場への観光客で頻繁に渋滞がおきている。</p> <p>粉河加太線へ繋がる南北の道路の整備をお願いします。</p>	NO. 11と同様の考え方です。

整理番号 15 松江木本線（廃止候補）			
21	18	<p>現道の幅員が3.7mと狭い 住金からの大型車が早朝からよく通る 小・中学校の通学路である 救急車も頻繁に通る ごみ収集車も対向できない 事故が発生している といった理由により、車道の拡幅もしくは歩道の確保などの都市計画は存続して頂きたい。</p>	15 松江木本線については、市の骨格をなす路線ではなく、狭隘道路対策については、既存道路の局所改良などによる代替えが効果的・効率的であると考えており、都市計画道路としては廃止候補としています。
整理番号 18 嘉家作府中線（存続候補）			
22	17	7 西脇山口線から国道42号までの区間は、大型店舗の補償が必要であること、また代替道路があることから廃止すべき。	18 嘉家作府中線の7 西脇山口線から国道24号までの区間については、外環状線道路の一部を担う区間であるため、存続候補としています。
整理番号 22 布引本渡線（廃止候補）			
23	4	<p>廃止には賛成であるが、代わりに渋滞が常態化している県道を拡幅すべき。拡幅の必要性としては、①交通量が多い、②海南・冬野に通じる幹線道路である、③沿線に住宅・店舗・病院が多い、④迂回路・バイパスがない。見直して廃止とするならば、周辺道路の渋滞対策（案）も一緒に示して欲しい。</p>	22 布引本渡線については、平行する県道（和歌山海南線及び小野田内原線）による代替えが可能であると考えており、廃止候補としています。県道の渋滞については、存続候補路線である3 松島本渡線の南伸（海南方面）により緩和されると考えていますが、必要に応じて交差点改良などの渋滞対策を県に要望していきます。
24	21	<p>国道42号及び県道和歌山海南線の渋滞により消防車両の進入が困難となっています。 阪神淡路大震災、東日本大震災以来、道路が命を保つ社会基盤であると認識されるようになり、県下でも大規模な道路整備が進んでいる。間もなく開通する4 南港山東線に合わせ、名草地区にとって重要な7 布引本渡線が整備されると期待していたところ、廃止を検討されていると知り、落胆に陥っています。</p>	NO. 23と同様の考えです。

		津波等の大災害の避難を考える上で、名草地区にとって重要な路線であるため、廃止の再考を望みます。	
25	22	<p>内原地区より国道42号への連絡道は県道和歌山海南線しかなく、慢性的な渋滞が起こっているため業務に支障きたしています。</p> <p>和歌山市南部の都市計画道路網は、非常に乏しく、また南ICが完成後もマリナーシティへのアクセス道路は旧態依然としたままで、観光シーズンは渋滞が発生するでしょう。</p> <p>仮に22布引本渡線がこのまま廃止されることになれば、和歌山市の南部に位置する名草、和歌浦、安原地区や海南市の今後の発展が必ず阻害されてしまいます。</p> <p>よって、22布引本渡線の廃止の見直しを望みます。</p>	NO. 23と同様の考えです。
26	23	<p>名草地区・内原地区在住の農業者は名草山周辺で耕作をしていますが、名草地区から本渡、吉原地区まで直接往来できる広い道が無いため、細い道を移動することとなり、非常に効率が悪いです。</p> <p>本渡地区の一部区間は整備済みとなっており、計画を存続し早期の完成を望みます。</p>	NO. 23と同様の考えです。
27	24	<p>布引地区をはじめ名草地区に属する各地区には、国道42号、県道和歌山海南線以外に幹線道路がない。</p> <p>近年、名草地区の北側に4南港山東線が整備されつつあり、既に開通している区間があり、やっと7布引本渡線の順番だと大いに期待しておりました。</p> <p>長期未着手なのは、市中心部の大事な路線を先に進め、順番を待たなければとの思いで、地元が望んだ訳ではありません。</p> <p>当該路線の廃止の見直しを望みます。</p>	NO. 23と同様の考えです。

整理番号 23 和佐山口線（一部廃止候補）			
28	17	7 西脇山口線から国道24号までの区間も廃止すべき。	23 和佐山口線の7 西脇山口線から国道24号までの区間については、周辺道路（7 西脇山口線）の整備による交通の転換を踏まえ、存続候補としています。
整理番号 25 新在家坂田線（廃止候補）			
29	1	<p>すぐ東側に3 松島本渡線があるため廃止に賛成ですが、完成区間の北端から東西へ抜ける道路が必要。また日前宮と向陽高校の間に自然を活かした通学路、歩道を整備していただきたい。</p> <p>人口から考えると新しい広い道路は不要であるが、あと少しで便利になる袋小路を無くし、また安全に子供たちが歩けるよう、もう少し人間主体の整備の完遂をお願いしたい。</p> <p>道路整備において高架下の治安悪化、側溝が深く危険で維持管理不足が見受けられるので、景観・美観を意識していただきたい。また、維持管理で雇用を生んでもらいたい。</p> <p>新設の道路において植栽が植えられているが、手入れが追い付かず枯れてしまったり、雑草だらけになっていたりするのを見ます。植栽の種類や舗装材料の選定にも配慮すべき。</p> <p>一方通行規制をもっと取り入れることで、広い道路を整備する必要が無い場所もあるように思います。</p>	<p>25 新在家坂田線については、JR和歌山駅へのアクセス向上のため存続候補としている2 有本田尻線の整備による代替えが可能であると考えており、廃止候補としています。</p> <p>行止り道路等について、今後、計画道路の整備を進めると共に、現道の活用や生活道路の整備で効果的・効率的に進めるようにしてまいります。</p> <p>管理不足などのご意見については、真摯に受け止め、今後の道路行政に反映させていただきます。</p>
30	12	<p>廃止候補となっていますが、出水地区には、市道が無く、大雨時等に避難困難者がどう避難していいか分かりません。紀の川から南も整備しないと和歌山駅の周辺も寂れてしまいます。</p> <p>今のこの異常気象を考え、どうか安心して生活できる所にしてください。</p>	<p>25 新在家坂田線については、JR和歌山駅へのアクセス向上のため存続候補としている2 有本田尻線の整備による代替えが可能であると考えており、廃止候補としています。</p> <p>（大雨時の対策としましては、大門川の改修事業を進めています。）</p>
31	25	完成区間を活かすために、宮街道までは完成させるべき。	<p>25 新在家坂田線については、JR和歌山駅へのアクセス向上のため存続候補としている2 有本田尻線の整備による代替えが可能であると考えており、廃止候補としています。</p> <p>部分的に整備済みとなっている区間については、周辺道路とのネットワークを</p>

			確保するため、既存道路を活用し、効果的・効率的な整備を検討していきたいと考えています。
3 2	1 7	一部完成区間はどのように扱うのか。	NO. 3 1と同様の考えです。
整理番号 2 6 北出島津秦線（廃止候補）			
3 3	6	周辺的生活道路が狭く災害時の避難が困難であり、26北島津秦線が計画にあるので道路用地に協力するよう長い間考えていた。 存続させて欲しい。	26北出島津秦線については、存続候補の2有本田尻線、事業中の3松島本渡線を整備することにより、県道（和歌山野上線）による代替が可能であると考えており、廃止候補としています。